

## ～「学研木津北地区」というのは鹿背山の里山のこと 里山活動を楽しみながら、里山再生に取り組んでいます～

### 木津北地区の生物

木津中央地区(城山台)から木津北地区(鹿背山)へ移殖したカスミサンショウウオ(京都府レッドリストカテゴリー:絶滅寸前種)は、今年も産卵し4月中旬に孵化しました。

また、鹿背山の里山に生息するフクロウの雛は確認できましたが、オオタカ(京都府レッドリストカテゴリー:絶滅危惧種)の営巣は確認されていません。

引き続き、カスミサンショウウオやトンボ類などが生息する水田の環境を維持するため稲作を維持すると共に、通路整備や尾根道を整備することで、人が楽しめ、オオタカなどの猛禽類も飛翔できる空間を確保します。



フクロウの雛



カスミサンショウウオ

### 生物多様性

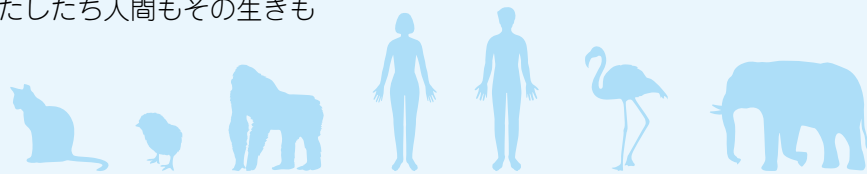
地球上の生きものは、生命が誕生して以来、40億年という長い年月の中で、さまざまな環境に適応して進化してきました。今、地球上には3,000万種もの生きものがあるとされています。日本だけでも、これらの生きものたちは森や川、草原、湿地、海などいろいろな場所で、おたがいにバランスを保って生きています。たくさんの種類の生きものすべてが、複雑に関わりあって存在していることを生物多様性とよんでいます。わたしたち人間もその生きもののひとつなのです。

### もし、生物多様性が失われてしまったら

地球上から森や小鳥、魚、昆虫などが消えてしまって、人間だけが残ったと想像してみてください。

立派なビルやコンピューターがあっても人間だけでは生きていけません。

たとえば食べものはすべて生きものです。生きていくのに必要な酸素は森から生まれます。わたしたちの生活に欠かせないエネルギー、衣料の原料などは生物多様性がもたらす自然の恵みなのです。



### 今からできる生物多様性を守ること

生物多様性のために誰もが簡単にできることがあります。身近な5つの行動からできるものをチェックしてみよう。

- 1 たべよう 地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。
- 2 ふれよう 自然の中へ出かけ、自然や生きものにふれます。
- 3 つたえよう 自然のすばらしさや季節の移り変わりを感じて、写真や絵、文章などで家族や友だちに伝えます。
- 4 まもろう 生きものや自然、人や文化とのつながりを守るため、自然や生きものの観察会、保護活動などに参加します。
- 5 えらぼう エコラベルなどがついた環境にやさしい商品を選んで買います。



自然の恵みを感じる  
生物多様性マガジン  
「イキトモ」より抜粋

### 里山へGO！（里山活動に参加してみよう）

鹿背山で活動する団体の里山活動を体験してみたい方や参加してみようと思われた方は、気軽に連絡してください。

木津北地区保全推進室（都市計画課内） ☎ 75-1222 ✉ kizukita@city.kizugawa.lg.jp